

黒川町家読連絡会が『地域再生大賞』優秀賞を受賞

伊万里の「家読」に新たな栄誉

黒川町家読連絡会が、地域活性化に取り組み全国の団体を顕彰する『地域再生大賞』で優秀賞を受賞し、2月23日、塚部市長に報告しました。同会の小島哲郎会長は、「地道な取り組みが評価されました。家読を実践する子どもは、日ごろの落ち着きや、文章の読解力に差が出ると聞いています。今後は、家読がもっと全国に広がればいいと思います」と、受賞の喜びを伝えました。

家読は、平成19年に市が制定した『いじめなし都市宣言』の理念に基づき、子どもたちの豊かな心をはぐくむ具体策として始まりました。同会は、黒川町が家読推進モデル地区に指定されたことを受け、学校関係者や地域の読み聞かせグループなどで結成。家読の集会やイベントを定期的で開催しており、3月1日には『黒川町「家読のすすめ」発表会』が開かれました。



↑受賞の喜びを塚部市長（左）に報告する小島哲郎会長（右）

また、黒川町のほかにも、大坪地区や波多津町で『家読フェスティバル』、市民図書館で『家読推進講演会』が開催されるなど、市内各地に家読活動の輪が広がっています。

市民図書館の『芽生え』を温かいぜんざいで祝福

市民図書館で「めばえの日」を開催

2月22日、市民図書館の起工式を祝う『めばえの日』が市民図書館でありました。

これは、市民図書館の運営などに協力する『図書館フレンドズいまり』が毎年開催しているもので、心のこもった温かいぜんざい約300杯が来館者に振る舞われました。また、古本市や図書館専属の市民合唱団『いすの木合唱団』のコンサートなど多彩な催し

が行われ、多くの人でにぎわいました。

市民図書館の起工式が行われたのは、今から21年前の平成6年2月26日。新しい図書館を待ち望む市民約200人が建設予定地で概要説明を受けた後、ぜんざいを囲んで夢の実現を喜び合いました。そのときの熱い思いを忘れないようにと、この時期に『めばえの日』が開催されています。



↑会場は多くの家族連れなどでにぎわいました。

郷土の文化財

文化財啓発特集①

発行行為と埋蔵文化財の保護①

●問合先 生涯学習課

(☎) 33186

埋蔵文化財とは、土地に埋蔵された文化財のこと

で、人間の文化的、生活的活動で生み出され、残されている物のうち、歴史上、学術上で価値が高いものことです。一般には、『遺跡』や『遺跡内の「遺物」』『遺構』を指します。

ければなりません。

また、埋蔵文化財の包蔵地の範囲外であっても、工事などの行為によって、新たに埋蔵文化財を発見した場合は、直ちにその行為を中止し、教育委員会に届出書を提出した上で、指示を受けてください。

埋蔵文化財は、国民共通の財産であり、地域の歴史と文化に根ざした歴史的遺産でもあります。

このため、埋蔵文化財の存在が知られている土地（周知の埋蔵文化財包蔵地）内で、土地の造成や構造物を建設、また土地の形状を変更する行為などを行う場合は、教育委員会に必ず届出書を提出し、その指示に従わな



↑事前の届け出後の発掘調査で発見された石棺と銅鏡（午辰遺跡）